



Tomotaka Takahashi

Interview

卒業生インタビュー

今日の立命館フェアinみやこめっせのステージ上の卒業生企画でヒューマノイドロボット「ロビッド」君の実演を披露していただき、立命館高校・立命館大学のOBである高橋智隆さんにお話を伺いました。

自由な校風の中で生活したからこそ、今の自分がある。

ロボットクリエイター **高橋智隆** さん

私は立命館高校と立命館大学で学びましたが、その自由な校風の中で生活したからこそ、今の自分があると実感しています。おもしろい友人も多く、中でも漫才コンビ「サバンナ」の八木真澄くんは高校、大学の同級生で、テレビ局で偶然ばったり、なんてこともあります。母校からの講演依頼や、在学中に授業を受けていた先生と会う機会があるなど、「卒業生」ということで好意的に声を掛けていただくこともあり、立命館との関係は切っても切り離せないものだとつくづく感じています。この人脈はかけがえのない財産です。

また、振り返ると、大学で文系・理系の分野をまたいで学んだことも今のロボット作りに大きく功を奏しているように感じています。

ロボットの開発は細かい試行錯誤の繰り返しです。日常も何かしらロボットのことを考えていますね。こうやって好きな事を仕事にしていると、忙しくも楽しい毎日です。「一家に一台ロボットがいる時代」を信じ、これからもロボットの製作に没頭するとともに、子どもたちをはじめとして、幅広い世代の人にロボットの魅力を伝えていきたいと思っています。



- 1975年 大阪に生まれる
- 1993年 立命館高等学校 卒業
立命館大学産業社会学部 入学
- 1998年 同 卒業
- 1999年 京都大学工学部 入学
- 2003年 同 卒業
株式会社ロボ・ガレージ創業
現在に至る

■ 現在

株式会社ロボ・ガレージ代表取締役社長
東京大学先端科学技術研究センター特任准教授
大阪電気通信大学メディアコンピュータシステム学科客員教授
福山大学工学部電子ロボット科客員教授
ヒューマンキッズサイエンスロボット教室アドバイザー

■ 受賞歴

ロボカップ 2004～08 世界大会優勝 (5 連覇)
米TIME誌「Coolest Inventions 2004」
ポピュラーサイエンス誌「未来を変える 33 人」
ギネス世界記録認定 (エボルタ 24 時間ルマン走破)



Ritsumeikan Fair

子どもたちが自ら考え、行動する。
そんな当たり前のことができるようになってほしい。

立命館の学校には、その思いが、さまざまな取り組みがあふれています。

会場では、その一部を、200人の子どもたちが紹介します。

学園創立110周年・APU開学10周年記念企画

立命館フェア

IN みやこめっせ

2010年9月26日 10:00 START



子どもたちを通して、感じてほしい。
“学びの感性”をはぐくむ、『一貫教育』



立命館フェア

IN みやこめッセ

会場map

ロボット展示

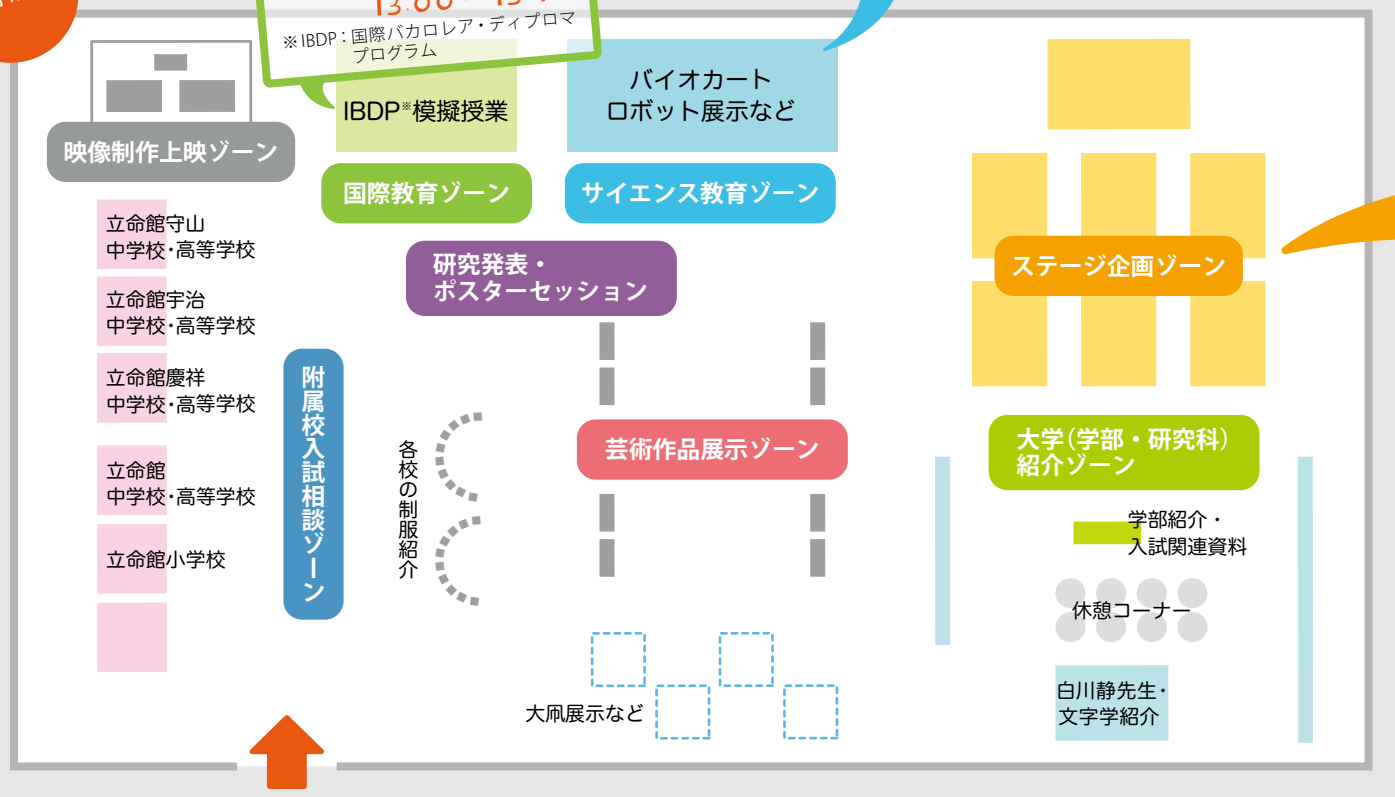
「日本の先端のサイエンス教育」SSH^{#1} & SPP^{#2}
立命館小学校、立命館高校、立命館守山高校の児童・生徒によるブース発表(各校15分)

毎時 (10:00-15:00) ※ただし12:00~13:00を除く

立命館小学校	10:00-10:15
立命館高校	10:20-10:35
立命館守山高校	10:40-10:55

※1 SSH: Super Science High School ※2 SPP: Science Partnership Program

「英語で体験!」立命館宇治高校
開講時間 11:00-11:40
12:00-12:40
13:00-13:40
※IBDP: 国際バカロレア・ディプロマプログラム



R i t s u m e i k a n F a i r

ステージ企画 タイムスケジュール

時間	出演校	内容(予定)
10:00	立命館小学校	チアリーディング 発表
10:05	オープニング	開催宣言 木村直哉(立命館小学校 教諭) 開会の挨拶 上野隆三(学校法人立命館 一貫教育担当常務理事)
10:10	立命館小学校	学校紹介 合唱
10:23	立命館中学校	生徒会長学校紹介 WYM(ワールド・ユース・ミーティング)発表 ボランティア研修 発表
10:40	立命館宇治中学校	学校生活プレゼンテーション 和太鼓、笛 発表
10:55	立命館慶祥中学校	よさこいソーラン 学校紹介
11:10	立命館守山中学校	パワーポイントによるプレゼンテーション「学校紹介」 土曜講座「田楽」発表
11:40	卒業生企画	ロボットクリエイター 高橋智隆 氏(立命館高等学校 1992年度卒業生) 川村貞夫(立命館大学理工学部教授) RITS ROBOT Competition、表彰
13:10	合同企画	合同吹奏楽
13:29	立命館慶祥高等学校	チアリーディング 発表 生徒による課題研究 発表
13:45	立命館高等学校	Rits Super Science Fair 紹介 Student Company Program 発表 Super Science コース 音楽発表(三味線)
14:00	立命館宇治高等学校	Scholar Athletes & Artists コース 生徒による活動報告 海外派遣報告(カンボジア 他) 生徒による活動報告
14:15	立命館守山高等学校	「高校生国際水フォーラム」紹介 土曜講座「レイクアカデミー」調査研究発表
14:35	フィナーレ	映像作品の表彰発表 オリジナル合唱曲 閉会の挨拶 松井健(学校法人立命館 一貫教育部部長)

本日の立命館フェアの見どころを各校長が紹介します。

立命館中学校・高等学校 Ritsumeikan Junior and Senior High School



立命館中学校・高等学校
校長
田中 博
Hiroshi Tanaka

高い学力と豊かな人間性、社会貢献できる自立した人に育ってほしい。そのような思いで毎日の教育活動にあっています。世界的視野で展開される科学教育、生徒が株式会社を立ち上げるスチューデントカンパニープログラム、豊かな芸術性を育む教育やクラブ活動での素晴らしい成果など、生徒たちの元気な活動の一端をご覧いただければと思います。2013年秋を目標に長岡京キャンパスへ移転し、さらに充実した教育を展開する計画です。

立命館宇治中学校・高等学校 Ritsumeikan Uji Junior and Senior High School



立命館宇治中学校・高等学校
校長
汐崎 澄夫
Sumio Shiozaki

本校は世界を舞台に活躍できる力を鍛えています。熱くチャレンジし多彩に才能を伸ばす生徒の姿を展示作品や発表から感じてください。舞台では、勇壮な和太鼓や生徒のグローバルな活躍ぶりを、国際バカロレア(IB)の模擬授業では、「探究すること」、「人間の知識がつながっていること」をアピールします。Live Your Dream - 「夢をカタチにする」新しい学びがここにあります。

立命館慶祥中学校・高等学校 Ritsumeikan Keisho Junior and Senior High School



立命館慶祥中学校・高等学校
校長
川崎 昭治
Shoji Kawasaki

「イランカラブテ。welcomeに当たる言葉は何かと尋ねたときにアイヌの方から返ってきた言葉です。「あなたの心にそっと触らせて」という意味があります。人と自然の共生を大切にアイヌに相應しい言葉です。「自然の恵みが人を育てる」、アイヌばかりか、日本人が最も大切にしてきた教育観ではないでしょうか。北の大地・北海道に設立された立命館慶祥中学校・高等学校にはそれが脈々と息づいているのです。原生林に囲まれた広大な敷地で大自然の恩恵を身体一杯に受け成長してきた子どもたち、その姿と活動の一端をじっくり見たいと思います。子どもたちの目標は、「世界に通用する18歳」となることです。

立命館守山中学校・高等学校 Ritsumeikan Moriyama Junior and Senior High School



立命館守山中学校・高等学校
校長
小島 敏夫
Toshio Kobatake

「出る杭を伸ばす」。本校には、互いの個性と才能を尊重し刺激し合う気風があります。文系・理系の枠組みを超えた文理融合型の独自教育プログラム、学業と課外活動を両立させ更なる高みを目指させる教員の情熱指導、そこには本校が培ってきた教育観・人間観が色濃く反映しています。「グローバルな視点を持つ人」「社会に貢献する人」は、恵まれた環境と厳しく鍛え伸ばす教育から育つのです。今回は、生徒の芸術作品や研究発表、パフォーマンスを通じて、本校教育の魅力の一部をご紹介できればと思います。

立命館小学校 Ritsumeikan Primary School



立命館小学校
校長
浮田 恭子
Kyoko Ukita

立命館フェアにお越しいただきありがとうございます。立命館小学校は開校5年目の新しい学校。開校以来、学力・国際性・感性・倫理観の教育の4つの柱に基づき取り組みを進めて参りました。本年度は様々な場面で普段の子どもたちの学びの様子を見ていただくようにと考えてきました。このフェアでも、立命館小学校の児童の元気な姿、そして作品等に表現されていることらしい創造性や探究心を感じ取っていただければ幸いです。